

県産材の流通・利用拡大

県産材の安定取引

県産材の安定取引や流通コスト削減のため、従来からの市場経由の方式に加え、中間土場や大規模工場への直送の取組を進めています。



県内の主要工場を取組

県内の主な合板・製材工場等を紹介します。

若桜木材協同組合（若桜町）

- 平成4年に、大量生産による低コスト化を目的に、町内5製材業者等が設立。
- 工場が立地する若桜町内から原木を調達。
- ユーザーニーズに応じた多種多様な製品供給が可能であり、乾燥JAS材の安定供給に取組中。



株式会社オロチ（日南町）

- 間伐材の高付加価値化を目的に、平成18年に第三セクターとして設立。
- 主にスギ材を活用した単板積層材(LVL)を生産。
- 地元の素材生産事業体等で組織する日南町木材生産事業協同組合が原木を供給。



株式会社日新（境港市）

- 平成12年に操業を開始した県内唯一の合板工場であり、針葉樹構造用合板を生産。
- 近年は、県産スギ材を始めとする国産材の使用量が増加。



協同組合レングス（南部町）

- 県産スギ材の有効活用を目的に平成9年に設立され、三層クロスパネルを製造販売。
- 三層クロスパネルは、建築用材として、壁倍率や準耐火構造の大臣認定を取得。

